

家電製品から出火した様子



草加市、八潮市内の令和6年中（8月末日現在）の建物火災28件中10件、約4割は電気火災が原因によるものです。消防庁の報告書（資料参照）によると、電気火災の約8割は使用者に起因するもの（不適切な使用や維持管理不良）でした。製品の取扱い説明書の指示に従い、正しく使用、管理するようにお願いします。

【管内の火災事例を踏まえた火災を防ぐポイント】

1 コード、配線が家具、机などの重い物の下敷きになり、踏まれた状態になっていないか確認しましょう。

⇒ コード内部が断線、半断線しているおそれがあり、使用し続けるとショート（短絡）、発熱により配線被覆から出火に至る場合があります。

2 コンセントに差したプラグに緩みがないか確認しましょう。

⇒ 緩みによりすき間にホコリがたまりやすくなりトラッキング現象が起きます。また、プラグ接触部が発熱し、可燃物（服、紙類）に接触すると過熱され出火に至る場合があります。

3 長期間使用している家電製品に、経年劣化、異常がないか確認しましょう。

⇒ 製品内部の基盤、モーター等が劣化し、出火に至る場合があります。